

9月28日(土曜日)タイムテーブル

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
	ホール(ホール棟1F)	大会議室(会議棟3F)	大集会室①(会議棟2F)	大集会室②(会議棟2F)	第5+第6会議室(会議棟3F)	多目的ルーム(会議棟1F)
9:00	9:00~11:00 【大会企画シンポジウム③】 「岐路に立つ夫婦:カップルへの支援」 【シンポジスト】 平山史朗 野末武義 小笠原知子 直原康光 【指定討論】 宇都宮博 【企画・司会】 福丸由佳	FTAB	9:00~10:00 【事例検討③】 K-04「隠されていた不安の共有が両親の取り組みを促進した一事例」 (渡邊整)	9:00~10:00 【一般演題⑤】 P-06「IP不在の保護者面接に関する一考察—3事例の初回面接の分析から」 (赤津玲子) P-17「発達障害と精神障害を持つ兄・父母との関係を整理した心理士の事例から学ぶ、支援者自身の家族理解と再統合」 (岸本靖子) P-18「支援の膠着に気付き、かわり方を変更したことで展開した事例—援助関係の維持が本人の決断力を奪う可能性—」 (林正賢)	9:00~11:00 【自主シンポジウム⑤】 V-07「家族臨床におけるセラピスト自身の活用について語り合う〜グループスーパーヴィジョンの経験を通して」 (石田匡宏・神谷俊介・神庭瑠美子・長谷川京子・星野俊弥・渡辺優江・渡辺俊之)	9:00~11:00 【自主シンポジウム⑥】 V-06「今考える、LGBTQと家族のカタチ〜当事者、臨床、社会の視点から」 (林直樹・金城理枝・浅野藤也・田村毅)
10:05			10:05~11:05 【事例検討④】 K-02「思春期の子どもとの問題で来談した両親の面接—セラピストの巻き込まれに気づくこと—」 (渡部千世子)	10:05~11:05 【一般演題⑥】 P-01「行き詰りを把握し介入した事例—発達の視点と集団・組織システムのアセスメントから」 (中野真也) P-04「「苦情」への治療—クライアントは誰か—」 (浅野久木) P-23「日本におけるファイナンスシャル家族療法の実践」 (吉井まゆみ)		
11:15	11:15~12:15 特別講演 「異文化感受性発達モデルを活用した対人援助の可能性」 【講師】山本志都	FTAB				
12:15		12:15~13:40 昼休み		12:25~13:00 会務報告会		
13:40	13:40~15:40 【大会企画シンポジウム④】 「日本における家族療法の魅力と臨床家の養成」 【シンポジスト】 中村伸一 野末武義 小笠原知子 加治正喬 藤森圭子 石田真央 【指定討論】 児島達美 【座長】 田中究 馬場絢子	FTAB	13:40~14:40 【スーパーヴィジョン③】 S-02「情緒的交流が希薄な家庭で育った中年期女性の事例」 (筒井奈佳子)	13:40~14:40 【一般演題⑦】 P-15「教育現場における新たな支援者支援—不登校対応に関わる教員システムへのアプローチ」 (田上貢) P-16「能登半島地震における災害支援の活動報告—新たな支援者支援についての一考察」 (寺田日向子) P-26「医療ソーシャルワーカーへのグループスーパーヴィジョンスーパーヴィジエーションのニーズと達成課題の分析」 (土山緑) (代理発表:池田紀子)	13:40~15:40 【自主シンポジウム⑦】 V-02「対人援助職からみえる現在の父親の在り方」 (小笹祥子・清田晃生・大井雄一・七五三野暁美・永野沙保・川合利枝・布施裕美子・大宮宗一郎)	13:40~15:40 【自主シンポジウム⑧】 V-04「家族療法家が摂食障害に対応するコツ〜プラスアルファの専門知識〜」 (大森美湖・森野百合子・小原千郷)
14:45			14:45~15:45 【事例検討⑤】 K-07「前向きになれる方法はあるか?」と訴えたヤングケアラー支援の一事例」 (西山達二)	14:45~15:45 【一般演題⑧】 P-02「家族療法で支える「チーム学校」と「COCOLOプラン」」 (大石直子) P-07「面接構造の変更で不登校が改善した事例」 (近藤弘果) P-11「不登校の中学生男児と母の間で起きている変化を支持することで症状が改善した事例」 (藤枝周平)		
15:55	15:55~17:55 【大会企画シンポジウム⑤】 「一般医療/プライマリ・ケアにおける家族療法との協働グッドプラクティスから学ぶ」 【シンポジスト】 鈴木美砂子 佐藤律子 永嶋有希子 山田宇以 【指定討論】 William J. Doherty 【通訳】 辻井弘美 【座長】 宮本侑達 若林英樹	FTAB	15:55~16:55 【事例検討⑥】 K-05「両親面接における工夫—中学生の子をもつ両親との面接過程をもとにした考察」 (佐藤大海)	15:55~16:55 【一般演題⑨】 P-05「治療のアセスメントを用いた里親支援」 (西田泰子) P-10「セラピストが母子の間に入ることで不登校が問題視されなくなった一例—治療システムの活用—」 (山内凜基) P-13「特別養子縁組における実告知のプロセスに関する探索的検討—実告知を巡る養母の抱える葛藤と願い—」 (障子未紗都)	15:55~17:55 【自主シンポジウム⑨】 V-08「家族療法・家族心理教育・オープンダイアログなどを学んできたものとして、精神医療システムの変革を問い直す—当事者・家族との協働、ヒューマンライツ、相互関係をとらえる視点」 (伊藤順一郎・後藤雅博・遊佐安一郎・福井里江)	15:55~17:55 【特別企画①】 「スーパーヴィジエーションとスーパーヴィジエーションが学び合うスーパーヴィジエーションとは」 【シンポジスト】 阪幸江 坂本真佐哉 村上雅彦 加治正喬 藤森圭子 石田真央 【企画・ファシリテーター】 田中究 馬場絢子
17:00			17:00~18:00 【事例検討⑦】 K-06「親子同席面接を行った場面緘黙症男児の4年半の経過」 (長谷川京子)	17:00~18:00 【スーパーヴィジョン④】 S-04「学校教員と児童養護施設職員との連携—双方の立場を活かして—」 (宮戸和哉)		
18:05	18:05~18:15 閉会式					